

# 平成27年度予算見積調書

課室名：環境政策課  
 担当名：環境エネルギー・放射線担当  
 内線：3004 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B1	水素社会へのスタートダッシュ事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	低炭素分散型エネルギー社会構築事業費		
事業期間	平成26年度～	根拠法令	エネルギー政策基本法			戦略項目	09	新エネルギー埼玉モデルの構築		
						分野施策	040202	低炭素な暮らしとまちづくりの推進		
<b>1 事業の概要</b> 地球温暖化対策の切り札とも言える水素エネルギーの普及を図るため、水素供給インフラの整備や燃料電池自動車の普及などに取り組む。特に平成27年度から燃料電池車の市場投入が本格化するため、水素社会に向けてスタートダッシュをする取組を進める。  (1)水素エネルギー普及促進協議会の運用 155千円 (2)水素ステーション整備に係る調整等 190千円 (3)FCV率先導入事業 28,407千円 (4)水素エネルギー普及推進事業 4,907千円 (5)水素ステーションの整備・運営 81,900千円 (6)水素利用拡大可能性調査 14,778千円 (7)燃料電池自動車導入補助 100,000千円				<b>5 事業説明</b> (1)事業内容 ア 埼玉県水素エネルギー普及促進協議会の運用 155千円 イ 水素供給インフラの整備に係る市町村との調整及び現地調査 190千円 ウ FCV率先導入事業 28,407千円 エ 水素エネルギー普及推進事業 4,907千円 オ 水素ステーションの整備・運営 81,900千円 カ 水素利用拡大可能性調査 14,778千円 キ 燃料電池自動車 導入補助 100,000千円  (2)事業計画 平成23～26年度 県庁ソーラー水素ステーション・燃料電池自動車の実証事業（環境省委託事業） 27年3月に現水素ステーションは撤去予定 平成26～30年度 埼玉県水素エネルギー普及推進協議会の運営 平成26年度 水素エネルギー活用方策検討調査の実施 平成27年度～ 水素社会普及戦略（仮称）の策定 燃料電池自動車の公用車率先導入、普及啓発 県有施設への大型燃料電池発電の導入の検討・設計 新ソーラー水素ステーションの整備 燃料電池自動車導入補助 平成28年度 県有施設への燃料電池発電の導入  (3)事業効果 ・化石燃料に代わり再生可能エネルギーで製造した水素を活用することで劇的にCO2削減が進む ・蓄電池に加えてエネルギーの貯蔵と輸送の選択肢が拡大することで、さらなるエネルギーの効率利用が可能になる。 ・燃料電池をはじめとする水素エネルギー関連技術は日本が誇る先進技術であり、海外との産業競争力の強化につながる。  (4)県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況						
<b>2 事業主体及び負担区分</b> 県10/10										
<b>3 地方財政措置の状況</b> 普通交付税（包括算定経費） （区分）企画費（細目）環境保全対策費 （細節）環境保全対策費 （積算内容）地域の実情に応じた環境保全対策										
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×1.5人										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
決定額	230,337	県債						212,337	224,342	
前年額	5,995							5,995		